

令和6年度 栃木市教育研究所 研究所員研修会 研究記録カード

1 部会名	特別支援教育			部 会
2 研究所員 事務所員 ◆: 代表者	研究所員 ◆田端 省吾 (栃木中央小) ・多賀谷 有香 (大宮南小)	・横田 侑宏 (栃木南中) ・黒川 真理子 (皆川中)	事務所員 ・飯田 浩子 ・仲井 紗耶華	



3 研究テーマ

どの子ども安心して学びに向かえる授業づくり

4 研究の取組

(1) 研究内容

学習活動でねらいに迫るうえで、対象児童生徒がもっている特性やうまくいっていること、つまずきが見られることをもとに、支援の仕方を考えていく。特に、それぞれの児童生徒の特性に合った授業における支援方法を検討し、その効果を検証する。
また、対象児童生徒以外にとっても効果的な支援だったかを検証し、研究テーマに迫る。

(2) 研究計画

月 日	研修内容	月 日	研修内容
5月13日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	11月22日	研究テーマ・内容の協議
7月4日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	1月24日	栃木市教育研究発表会 (オンデマンド配信)
10月8日	研究テーマ・内容の協議	2月6日	協議・まとめ
		2月21日	3年次報告提出

5 研究の成果と課題

【成果】

- ・児童生徒一人ひとりの特性に合った支援を考え実践していくことで、全員が安心してねらいに迫る授業を実践できた。
- ・安心感について子どもたちと一緒に考える学級活動を行うこと自体が、児童生徒の安心感を得ることにつながった。
- ・その都度効果を検証しながら実態に応じた支援を繰り返していくことが、結果として児童生徒への理解につながった。

【課題】

- ・今回効果があったと思われる実践も、特定の集団の中で最適化されたものであり、安心感を高める支援の根底には、教員側の児童生徒理解と受容的な態度が必要である。

6 さらに研究していきたいこと

〇一人ひとりの教育的ニーズに応じた取組や手立てを持ち寄り、視点を明確にして授業で検証していきたい。